

---

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

---

対象期間 11月1日～11月7日

11月9日 健康医療福祉部感染症対策課

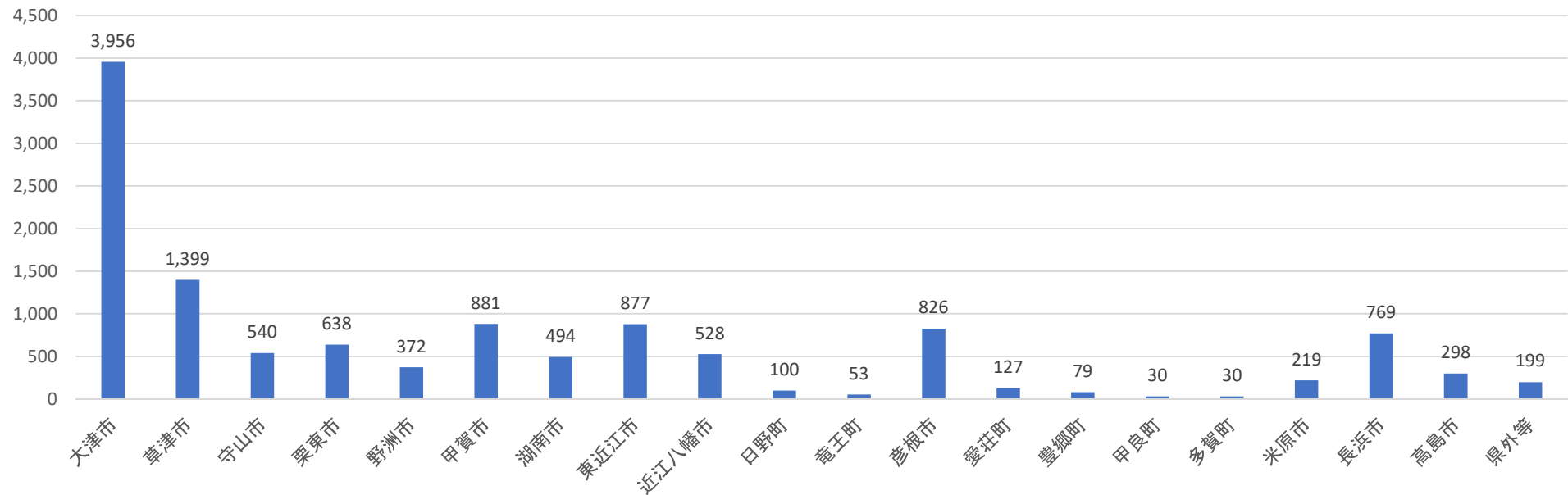


# 1、県内の感染状況について

## 1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(11/1~11/7)	7人
累計(11/7時点)	12,415人

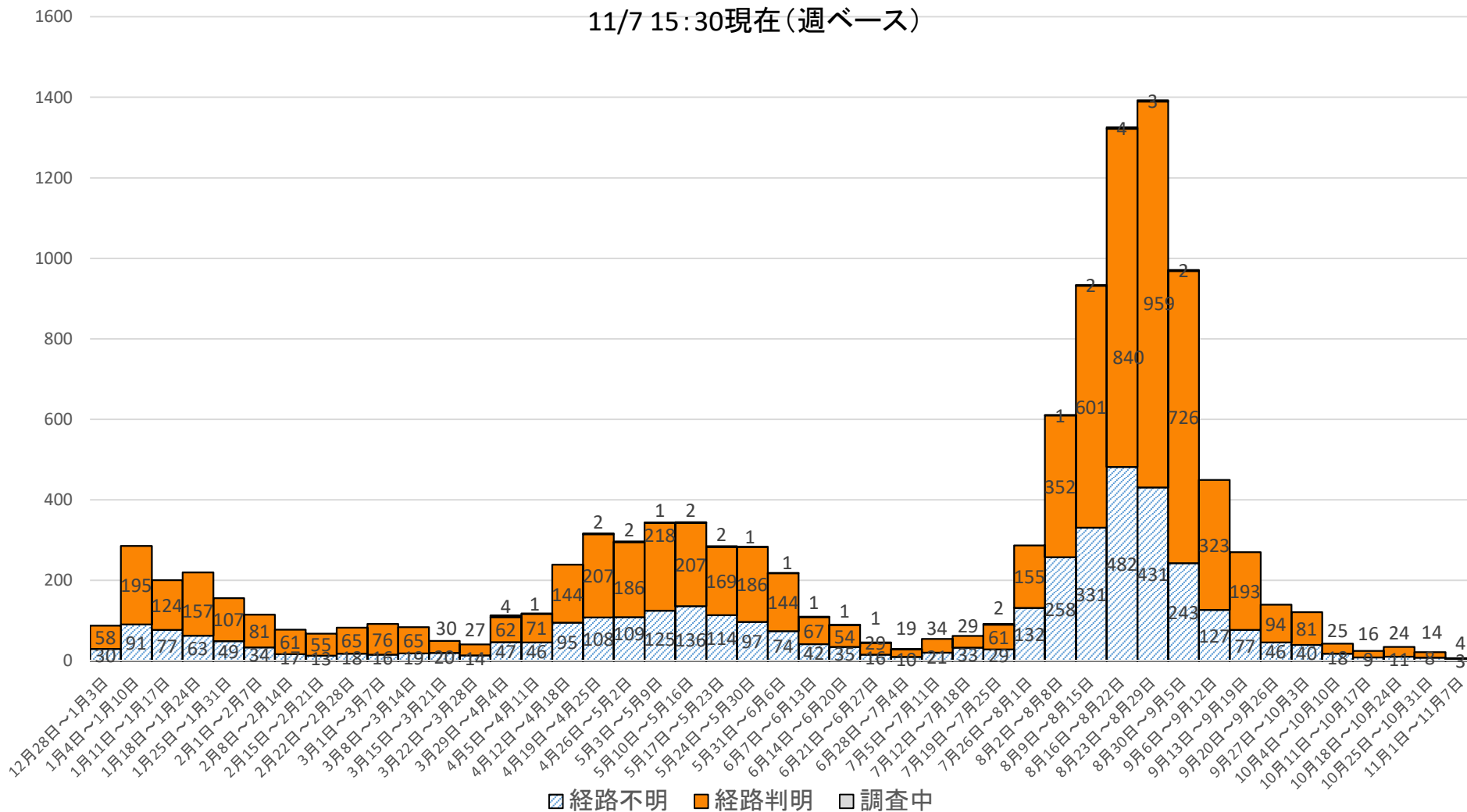
## 2) 市町別の累計陽性者発生状況



### 3) 県内の感染動向

#### ① 流行曲線(公表日別)(11月7日現在)

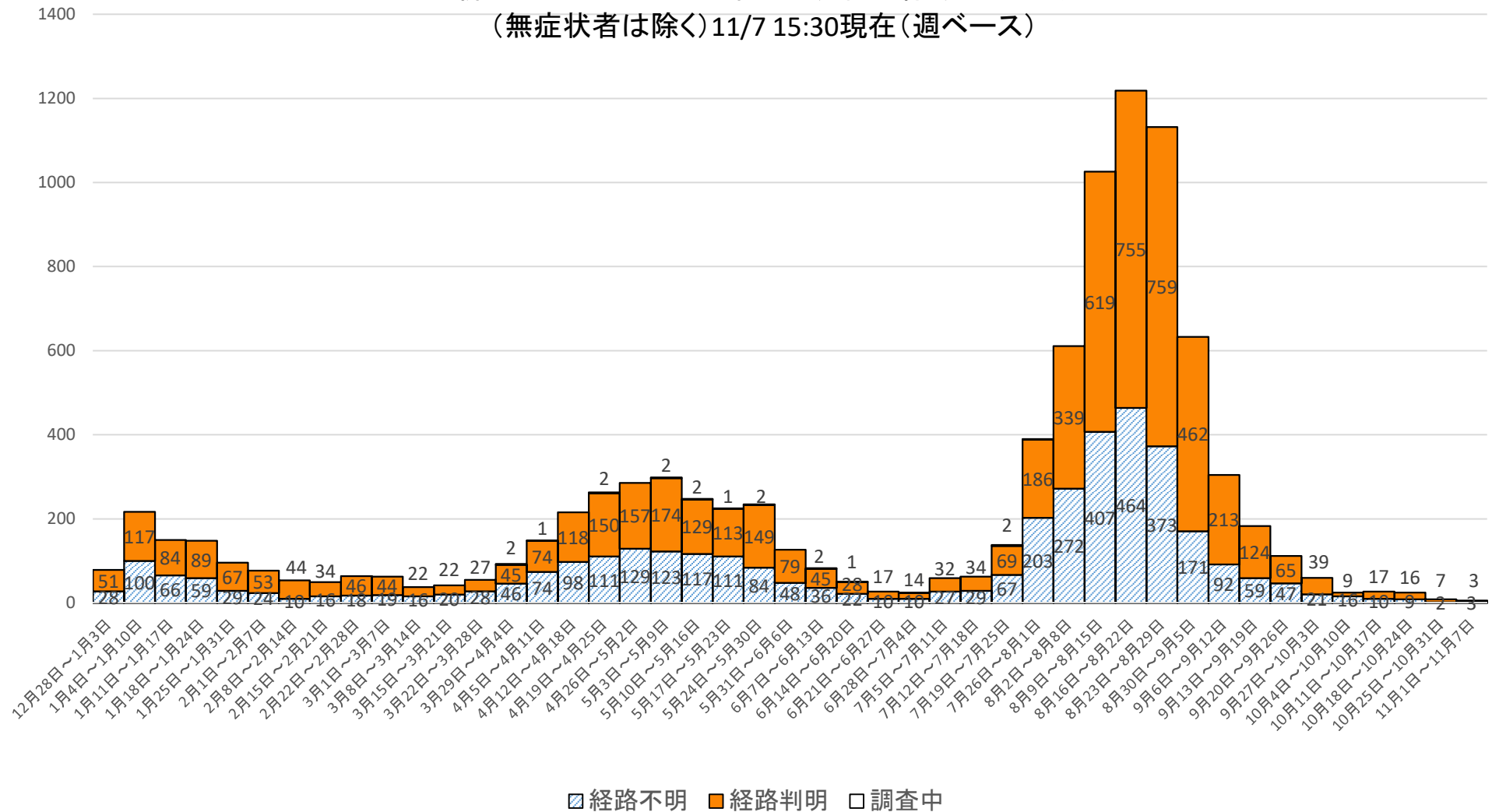
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)  
11/7 15:30現在(週ベース)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

## ②流行曲線(発症日別)(11月7日現在)

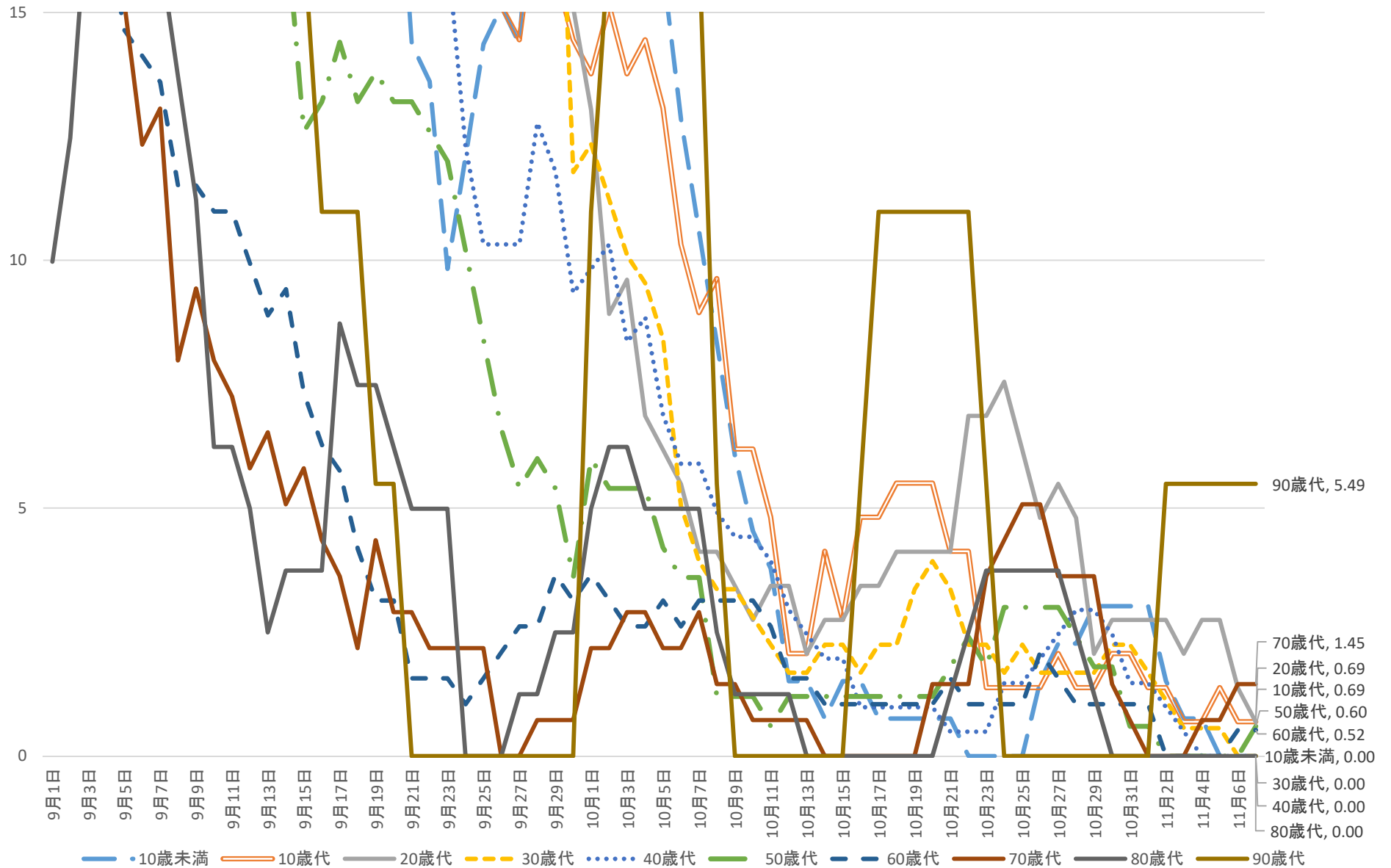
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)  
(無症状者は除く)11/7 15:30現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後11/7以前に発症した患者が届出されることがあります。

# 4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

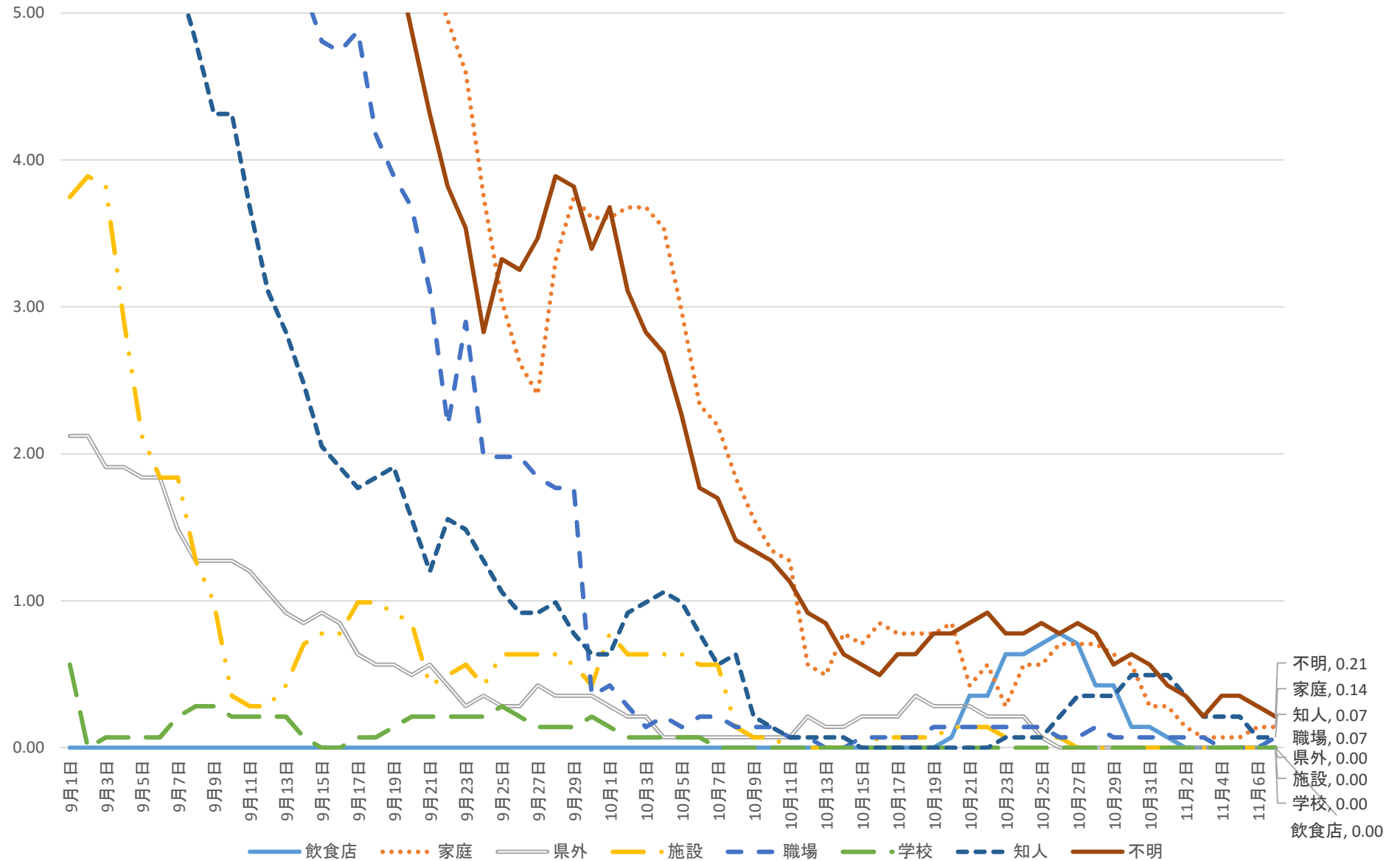
人 (公表日 直近7日間の累計患者数)(9/1-11/7)



# 5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

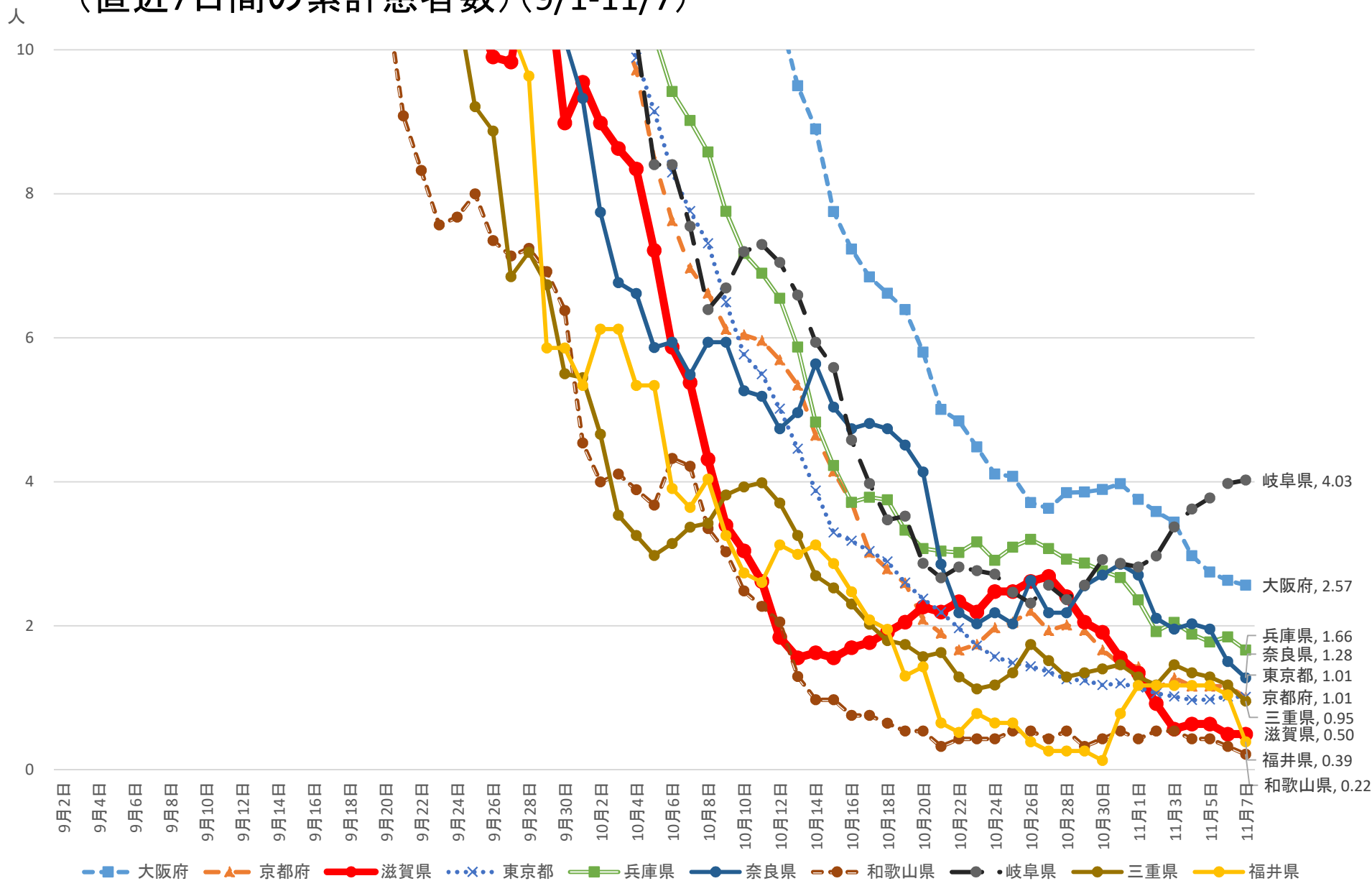
(公表日 直近7日間の累計患者数)(9/1-11/7)

(調査中除く)



# 6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(9/1-11/7)





## 2、県内の感染状況と体制について(11/7現在)

### 1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	441	5	5	0	436	677	5	5	0	22	650

### 2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数					入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中	重症	中等症	軽症				
PCR検査数	185,901	16	5	0	0	5	6	5	12,295	104
(うち行政検査分	72,527)									
(うちその他検査分	113,374)									
	(うちPCR検査判明分	8,992)					(うち自宅待機	1)		
抗原検査数	86,859						(うち自宅療養	5)		
	(うち抗原検査判明分	3,423)								

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

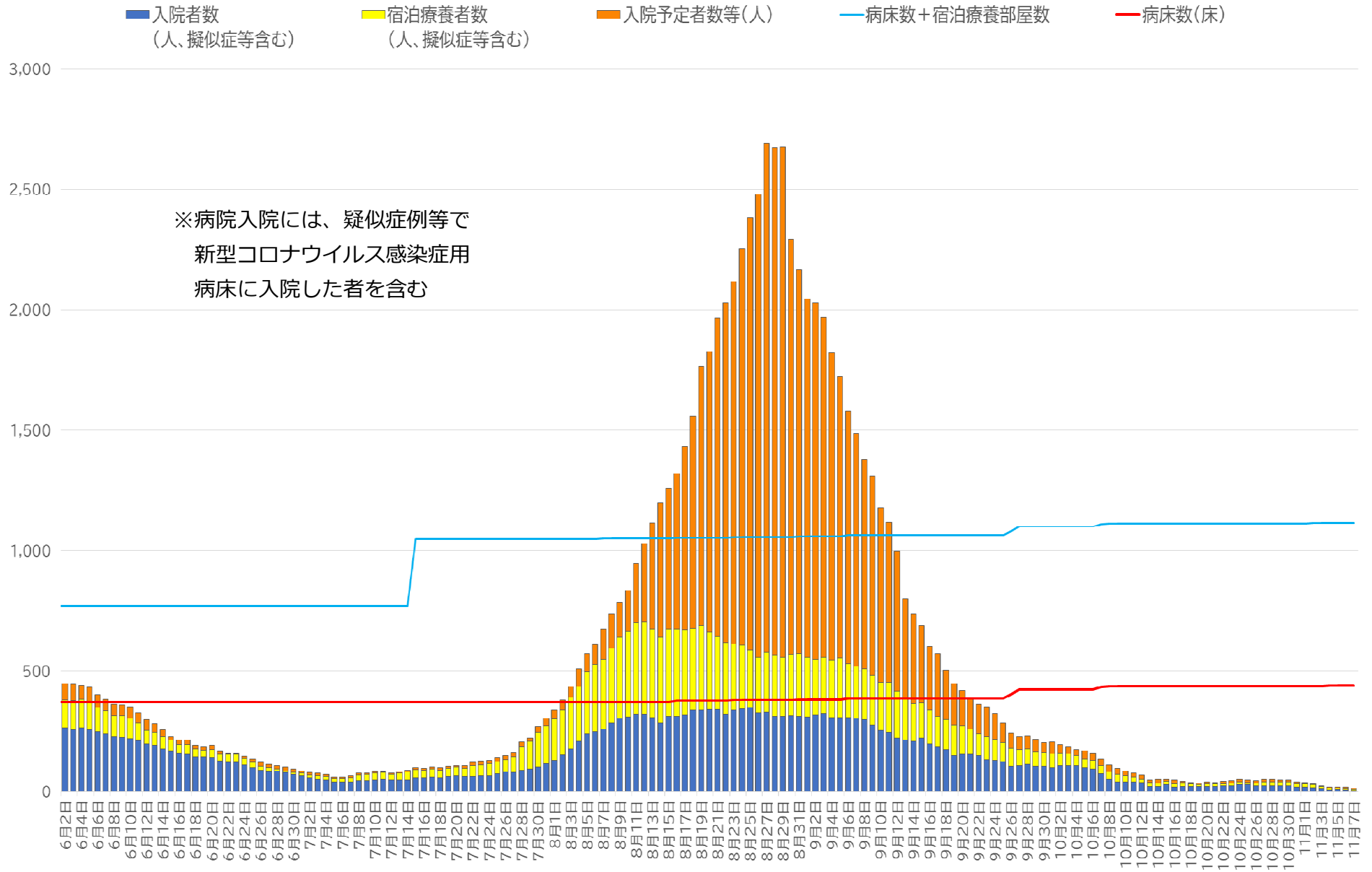
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

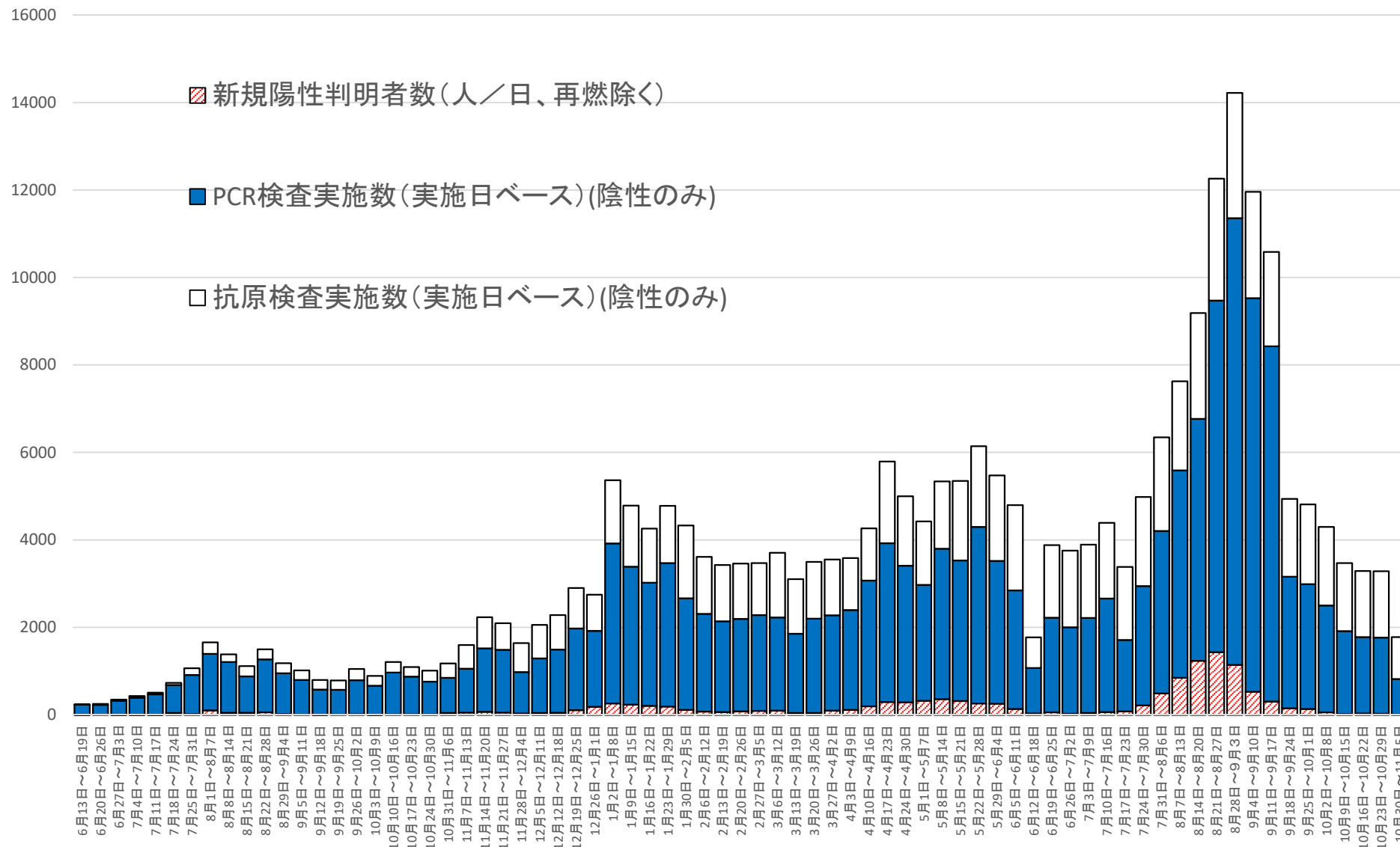
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

### 3)入院医療体制について



# 4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



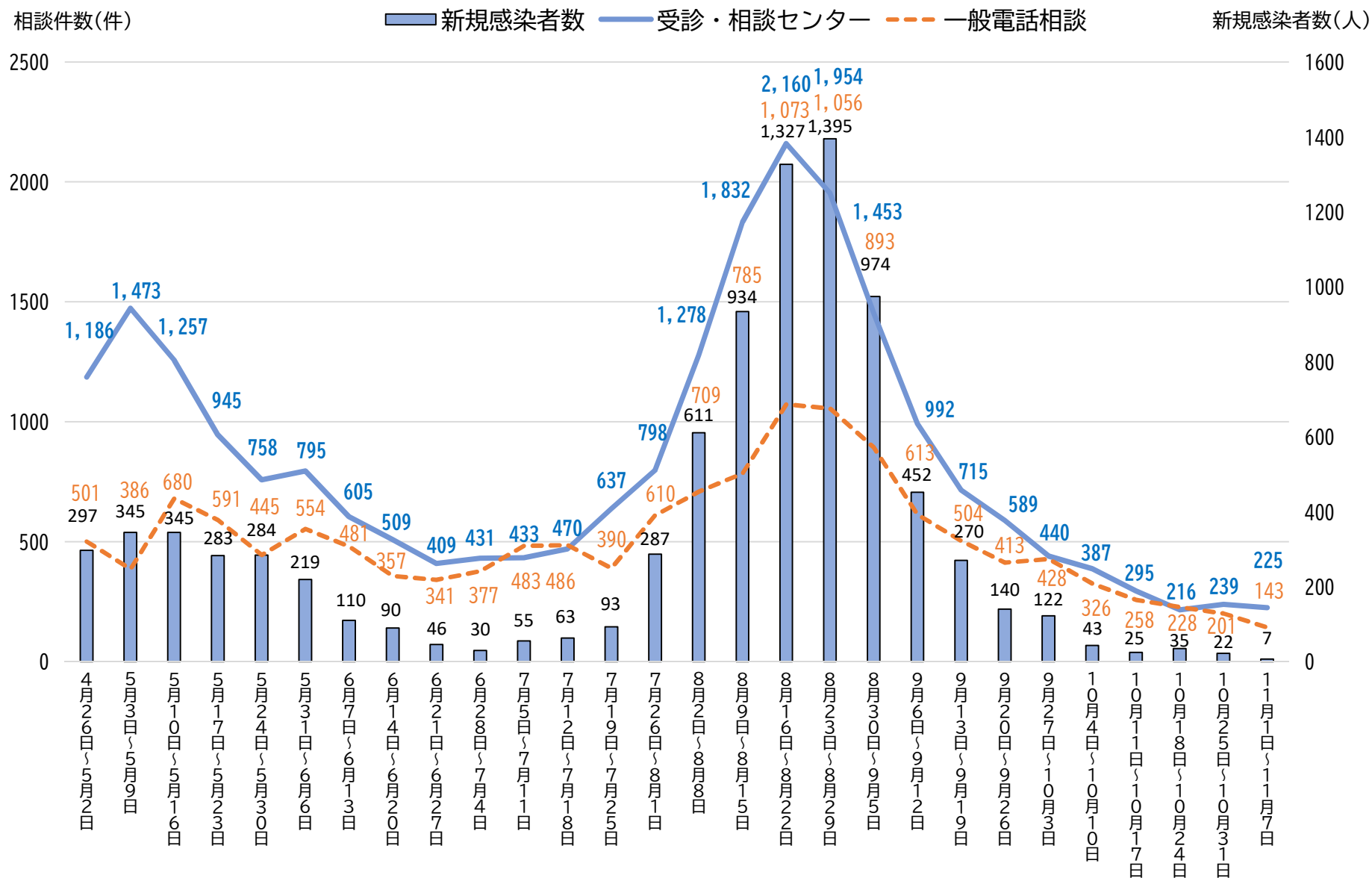
## 5)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、11月5日現在の陽性率は0.5%でした。

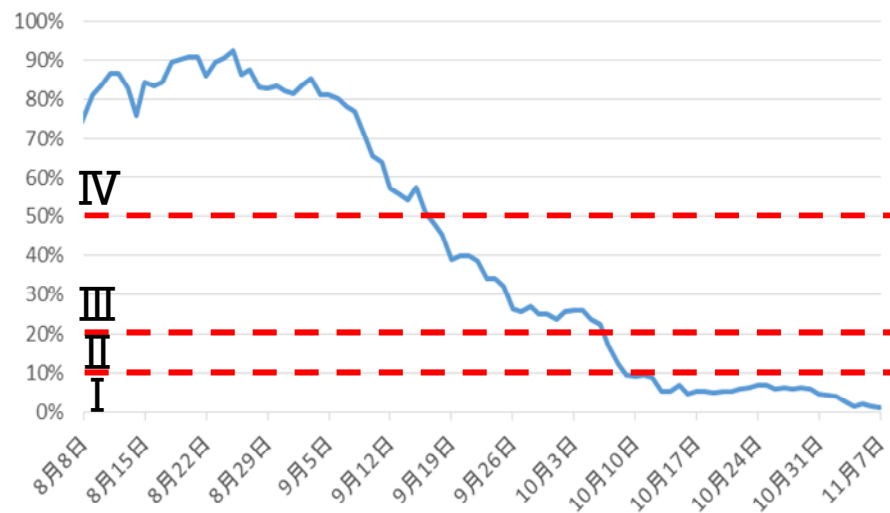
# 6) 相談体制について

## 相談件数と新規感染者数（週計）

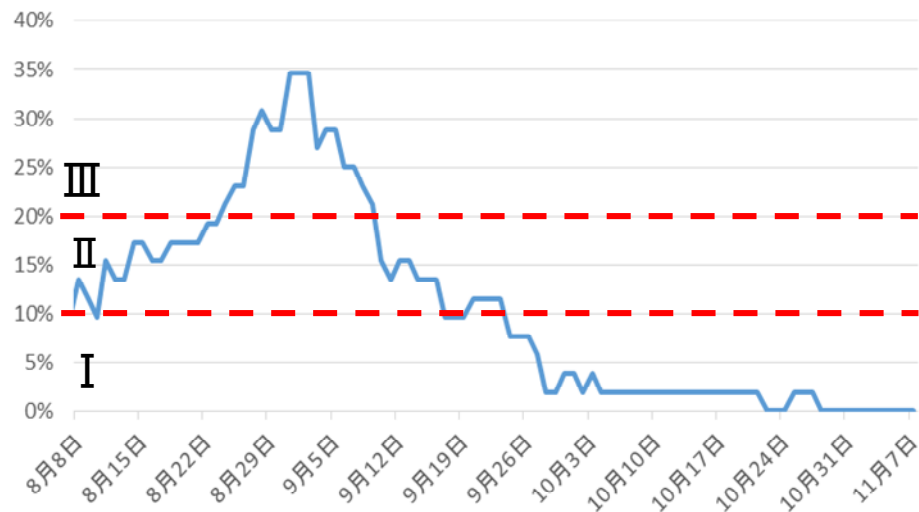


# 7)その他の県内の感染動向

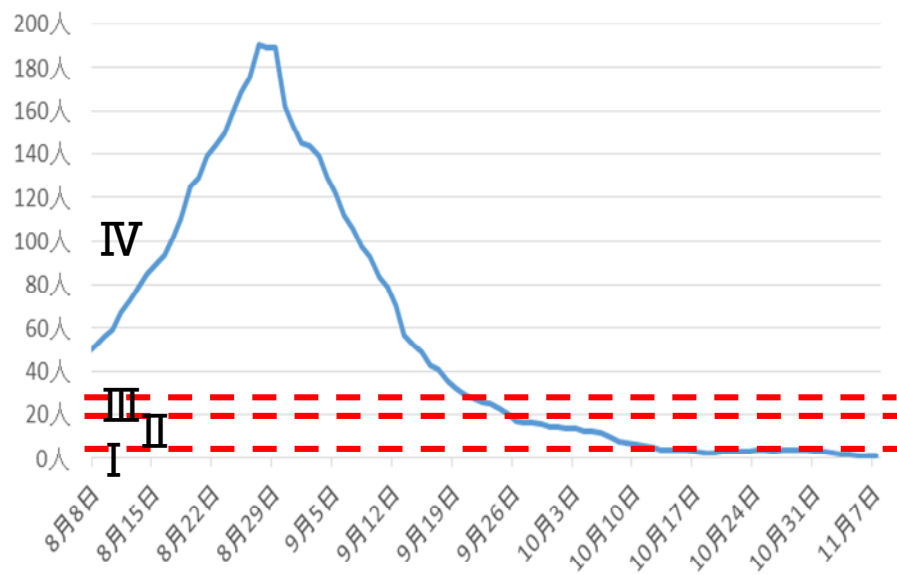
最大確保病床の占有率



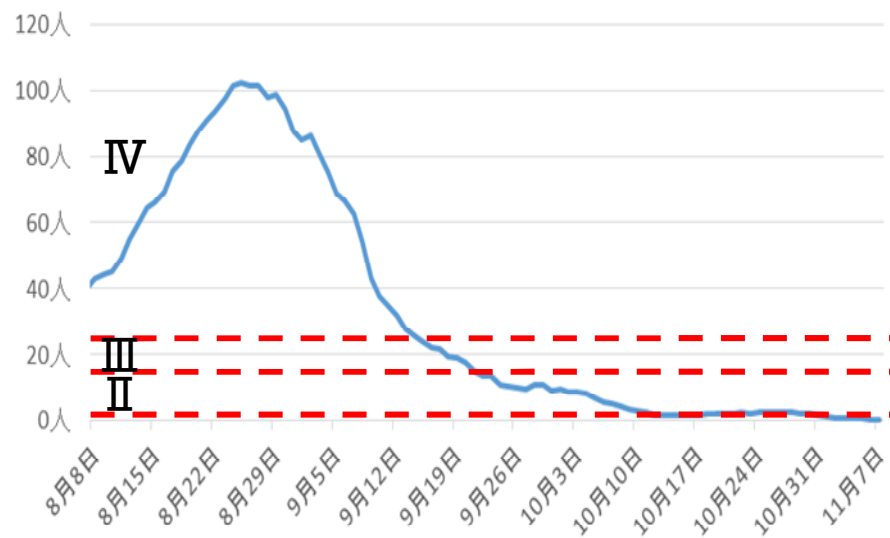
重症者用病床の最大確保病床の占有率



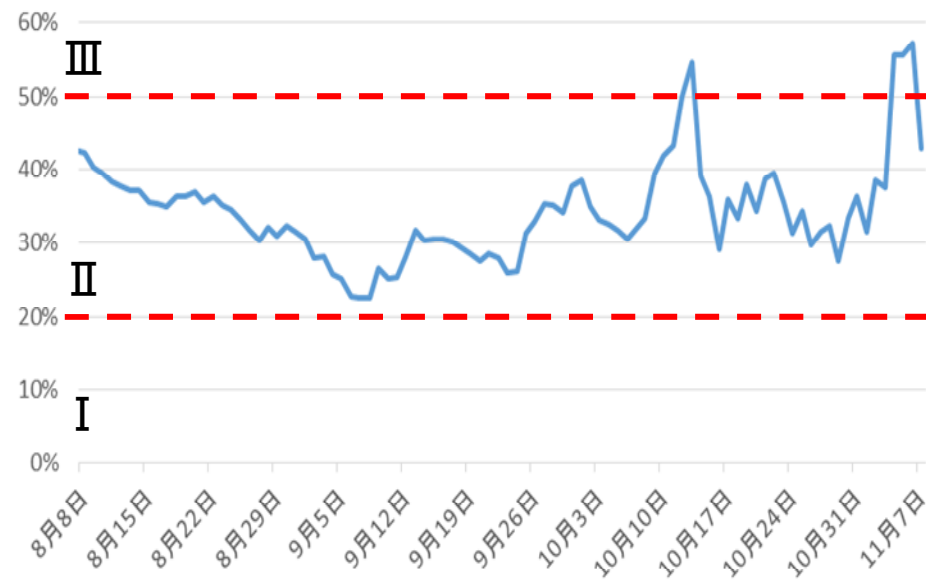
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人  
当たりの新規報告数



感染経路不明割合



## 評価(11/1~11/7の感染状況)

- 本県の今週の新規陽性者数（7人）は、先週（22人）と比較し、0.32倍となり低い水準で推移しています。他都府県の状況を見ても、増加傾向にある県も一部ありますが、東京都や大阪府などの都市部を含めてほとんどの都府県で低い水準で推移しています。
- 直近1週間における人口10万人当たりの新規陽性者数は、10月31日以降2人以下で推移しており、今年度で最も低い水準となりました。その他のステージ判断指標も、感染経路不明割合以外はステージⅠの水準で推移しています。本県は、10月29日にステージ判断をステージⅠに引き下げましたが、その後も低い水準を維持している状態にあります。
- 今夏の感染拡大傾向は、近隣府県の増加から始まり、県内では20～50歳代、特に20歳代の感染者から増加しました。ワクチンの効果もあり、同様の兆候が見られないことも考えられますが、社会活動が活発な年齢層は特に対策の継続が必要だと考えられます。
- リバウンドを起こさないためにも、改めて基本的な感染対策の徹底をお願いします。基本的な感染対策として、普段からの手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避などの対策を継続してください。また、「いつも一緒にいない方」との面会や会食時は、特に対策が緩まないように注意してください。
- 学校、事業所や医療機関等においては、第4波および第5波の流行が始まった直後に新規患者数が急増したことを念頭に、対策の確認、業務継続計画および物資の在庫など次の流行に備えるための確認を行ってください。